

病院でのインフルエンザ対策 — 鹿児島市立病院様

■ 病院紹介

鹿児島市立病院は、鹿児島市の中央に位置した県下の中核をなす総合病院です。診療科は、20科、病床数687床を備え、年間25万人の外来患者の診療をおこない地域の皆様の健康に貢献しています。また、県内唯一の救急救命センター・総合周産期母子医療センターを備えていることから鹿児島市内外の地域医療の中で重要な役割を担っています。



■ プロフィール

商号 鹿児島市立病院
 設立 昭和15年 市立診療所として設立
 住所 鹿児島市加治屋町20番17号
 電話 099-224-2101
 HP <http://www.kch.kagoshima.kagoshima.jp>

■ サーモグラフィの運用

鹿児島市立病院では、インフルエンザの院内感染防止対策として2009年10月5日からサーモグラフィの運用を始めました。

サーモグラフィは、正面玄関と駐車場側入口の2ヶ所に設置し運用を行なっています。発熱（インフルエンザの疑い）のある患者様を水際で見つけマスクの着用をお願いし、専用待合スペースへ誘導しております。鹿児島市立病院は、様々な疾患を持った患者様が来院されますので、より良い環境で安心して来院して頂く事が設置の目的です。

医事課 川崎氏



正面玄関入口に設置したサーモグラフィ



病院の職員が輪番で監視にあっている

NEC Avio 赤外線テクノロジー株式会社

〒141-8535 東京都品川区西五反田8丁目1番5号

TEL: 03-5436-1611 FAX: 03-5436-1619

<http://www.nec-avio.co.jp/>

2009年10月30日作成



正面玄関の案内
消毒の励行とサーモグラフィによる監視を来院者に通知
発熱が認められた場合、マスク着用、専用受診待合の案内、病室への立ち入り規制をお願いしている。



正面玄関からの来院者の発熱を監視



駐車場側入口に設置したサーモグラフィ



駐車場側入口をモニターとアラームユニットで監視
発熱者が通るとアラーム音・パトライトが点灯

■ 機器構成



アラーム付き体表温度検査システム
TVS-200IS

■ 発熱者対応フロー

